



「仕事をしたけれど、どうしたらいいんだろう」「対人関係が苦手で…」とか本当にさまざまだよ。

「そんなんだ。でも、人と話すのが苦手だし…」

じゃあ、実際に利用した人の話を聞いてみようよ。

みんな、どんなことを相談してるのかな？

みんなの悩みをしっかりと聞いてその人のペースに合った体験活動や他の機関を紹介してくれるんだよ。

「YELL」は、仕事や生活に悩んでいる若者（15～39歳）を応援するところだよ。

子ども・若者応援センター「YELL」ってどんなところなの？

ハナちゃん。学校や友達のこと、モヤッとした悩みを抱えている。

エルくん。仕事に就けないことを相談するため「YELL」へ通った経験あり。

イラスト・杉村一

「YELL」から踏み出す自分たちの一歩



田中悠太さん(22歳)

小・中学校で不登校になって、周りの助けを受けながら、高校は卒業したけど、しばらく何もしなかったら母がYELLを見つけてくれました。

初めてのことが苦手です。職員の人が親身に聞いてくれて、音楽が趣味だからと紹介された「芸術体験」に思い切って参加したら楽しかった。

これをきっかけに他の活動にも参加し、少しずつ気持ちが前向きに切り替えられるようになって、今はアルバイトに向けて自分を鍛えています。

焦ったら失敗しそう。なので、一歩ずつ。

芸術体験

ダンスなど、体を動かすのが気持ちよかったです！グループで案を出したりもするので、すぐ打ち解けられました。



田中義人さん(29歳)

高校中退後ひきこもりになっていて、どうしたらいいのかわからなかった。悩んでいた時に母が連れてきてくれました。

YELLでは僕が僕を知るための支援をしてくれて、自分のことを知って、障害者手帳を取得しました。就労体験を2年間して、現在は一般企業に就職しています。

8月には自分で企画した講座をYELLで開きました。自分の経験が誰かの助けになればいいなと思うので、今後もうるんなところで話ができればと思います。

悩みを共有・共感できる人がここにいましたから。

仕事体験

手作り豆腐などを作って販売しました。就職へのイメージが沸いたのも、この経験があったからです。



村上晴紀さん(20歳)

高2の時に学校生活のストレスに耐えきれなくなっていて、ひきこもりがちになって。YELLには2年前から来たい時に来ています。

これまで、多くの活動の中で、楽しそうな、興味のあるものに参加しました。今は面談をたまにしつつ、自分のペースで好きな時に好きなことを話しています。自分の性格を把握してもらっているのも、すごく利用しやすい。

自分の中の変化は感じているから、少しずつでもいいので、進んでいけたらいいなあ。

「自分の居場所」になっているんだと思う。

農業体験

外に出て、黙々と作業をするのが自分の性格に合っていたかも。収穫の大変さと喜びを学びました。



牧元大樹さん(23歳)

何事にも自信を持ってできなくなっていて、誰にも言えなくてすごく辛かった。だから大学卒業時に先生から紹介されて自分から電話しました。面談では、本当にじっくり聞いてもらえました。それから一緒に「どうしてこういうか」から始めた感じです。

以前は考えすぎて動けなくなっていたけど、誰かに聞いてもらえるだけでそんな風にはなくなくなる。今もいろいろ悩んでいるけど、失敗しても一歩進んでいる感じがします。

YELLに来てから気持ちが軽くなった。

コミュニケーション講座

初めは緊張したけど、レクリエーション活動は楽しかった。みんなと仲良くなれました！



みんなで収穫



子ども・若者応援センター「YELL」

所在地：戸畑区汐井町1-6
ウエルとばた2階

☎ 082・0188

開所時間：10～18時45分
休所日：日・月曜日、祝・休日
(月曜日と重なったときは翌日も休み)、年末年始

ほんの少しの悩みでも「YELL」に相談してみませんか？

悩みは人によって違います。誰に相談していいかわからない、そんな時はYELLに相談してほしいです。本人でなくても、ご家族などからの相談でも大丈夫です。

ここでは、臨床心理士やキャリアコンサルタントが、まず相談者の話を聞き、それぞれの悩みにあわせた支援を行います。例えば、人との関わり方に困難を感じている人には、あまり話さなくてもグループ活動ができる体験活動を、就労希望の人には、職場体験などを紹介します。他の機関と連携した支援もあります。

あなたの思いを話してください。YELLに来るのも勇気がいるかもしれませんが、次への一歩を一緒に考えていきましょう。

みんなも相談に行こう！





YELL相談員
竹内美佳さん